

**第74回岩手県民体育大会バレーボール競技  
感染症防止対策についての連絡事項**

- (1) 今大会は原則無観客開催とし、会場への立ち入りは以下の者のみとする。  
チーム関係者（選手・ベンチスタッフ）  
大会役員（審判員・運営に関わる競技役員など）  
大会参加選手家族（同居親族に限る）
- (2) 入館の際はチーム（上記 ・ ）ごとにまとまって入場すること。その際、健康観察チェックシートの提出をすること。チェックシートに記載されている内容をもとに人数確認を行う。また、入館の際に、必要に応じて検温を行うこともある。チェックシートを提出しなければ館内へ入場できない。  
チーム（上記 ・ ）の入場は当該試合の時間帯のみとする。ただし、1日に複数の試合がある場合は、会場で待機することができる。その際は密集を避け、飲食をする場合は会話をしないなどの基本的な感染対策を怠らないように注意すること。待機場所はギャラリーとする。
- (3) 館内は原則として常時マスク着用とする。また、手洗い、手指消毒などの基本的な感染症対策をこまめに行うこと。
- (4) 試合中も、コートでプレーしている選手以外は常時マスクを着用し、待機時やベンチでは極力座席を空けること。なお、アップゾーンを使用できるのは、試合に出場している選手のみとし、その他の控え選手はベンチに着席すること。また、ベンチ・アップゾーンとも声を出しての応援は出来ない。
- (5) 審判員は飛沫防止対策として、ホイッスルカバーを装着するか、マスクの下で吹笛を行うこと。  
ホイッスルカバーの使用については以下のとおりとする。
  - ・マスクの口元にホイッスルを啜る分の切れ込みを作り、その切れ込み箇所へホイッスルカバーをしたホイッスルを差し込み啜る。
  - ・切れ込みを作ったマスクは試合中のみ使用可能とし、試合終了後は普通のマスクを装着すること。
- (6) メンバーチェンジの際のナンバーパドルは使用しない。
- (7) 試合前後の選手同士及びチームキャプテンからの審判員への握手は行わない。
- (8) ボール等の競技用具の消毒は試合終了ごとに競技委員および当該審判員が行う。
- (9) ベンチと、使用したギャラリーについては、チームで消毒作業を行うこと。消毒作業に必要な物品（消毒液、除菌シート等）は各チームで準備・持参すること。ベンチの消毒については、コートチェンジ時と試合終了後に行うこと。コートチェンジはベンチの消毒を行ってから、審判の指示により行う。
- (10) チームの飲み物の空き容器等は、館内には置かずチームの責任として必ず持ち帰ること。また、アイシング等で使用した氷をトイレや洗面台に投棄しないこと。
- (11) チーム責任者は、参加する選手・スタッフの健康状態(検温・体調)を把握し、体調管理を徹底させること。
- (12) 陽性者、または濃厚接触者となった場合、その選手は保健所の待機指示が解除になるまで大会への参加は認めない。
- (13) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる場合は、該当者と他選手・スタッフを接触させないように隔離し、該当者を速やかに医療機関に受診させる。チームは、保健所が濃厚接触者の範囲を確定するまで待機とし、確定後濃厚接触に該当しない選手は大会への参加ができる。保健所の確定が試合設定時刻を過ぎた場合は棄権扱いとする。